

## NEC東京第三データセンター概要

項目	種別	
立地	所在地	東京都内
	交通	東京駅から約45分、複数経路あり。一級河川をまたがない。
	洪水・土砂災害・液状化	自治体ハザードマップの被害想定区域外。海拔50m以上。
	地盤	非常に硬い(N値*160以上)
建物構造	建屋	免震構造(基礎免震)
	床加重(スラブ)	最大 2.0t/m <sup>2</sup>
電気設備	受電	特別高圧、2系統受電
	自家発電機	冗長構成、72時間無給油連続運転可能
	UPS	冗長構成
	ラック供給電力(定格電力)	平均定格9kVA、最大15kVA
空調設備	空調機器	冗長構成、停電時無停止冷却(UPSあり)、業務用水備蓄72時間分
	PUE*2値	1.5以下(目標値)
セキュリティ	設備	ICカード認証、生体認証、フラップゲート、前室、サークルゲート
	運用	24時間有人監視、有人警備+金属探知機(入退館管理、持込持出品検査)、共連れ防止、アンチパニック、セキュリティゾーン管理、証跡保管
通信キャリア	キャリアフリー	
火災対策	超高感度煙検知器、窒素ガス消化設備	
公式認証等	プライバシーマーク、ISO/IEC27001、FISC*3安全対策基準(設備基準)準拠	
	JDCCファシリティスタンダード	ティア4相当(一部ティア3)

\*1 N値：標準貫入試験(JIS A 1219)によって求められる地盤の強度等を示す数値。50以上は極めて固いとされる  
 \*2 PUE (Power Usage Effectiveness)：データセンター全体の消費電力+IT機器による消費電力で算出されるデータセンターの電力効率を示す指標。1.0に近いほど効率が高い  
 \*3 FISC (The Center for Financial Industry Information Systems)：公益財団法人金融情報システムセンター

## サービスメニュー

ハウジングサービス	
項目	種別
標準サービス	フルラック、ハーフラック 電源供給、空調、設備監視、セキュリティ
オプションサービス	
監視	死活監視、OSしきい値監視、サービスプロセス監視、システムログ監視、SNMPトラップ監視 等
現地オペレーション	ランプ監視、コンソールオペレーション、バックアップオペレーション 等
媒体保管	媒体等の保管サービス
ネットワーク	データセンター間ネットワーク
運用サービス(個別対応)	
項目	種別
現状分析・課題抽出・改善提案	デュー・デリジェンス 運用クリニック*
運用設計	要件定義、運用業務設計(業務運用設計、基盤運用設計、センター運用設計)
運用構築	運用インフラ構築、ネットワーク構築
運用受入	運用テスト、受入れ審査、要員教育、運用引継ぎ
運用	サービス管理、継続的サービス改善、定期報告

お問い合わせは、下記へ  
**NEC サービスプラットフォーム事業部 インフォメーションデスク**  
 TEL：フリーダイヤル 0120 (78) 0962  
 【窓口営業時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)  
 E-mail：info@ebiz.jp.nec.com  
 URL：https://jpn.nec.com/outsourcing/dc/tokyo\_3.html  
 \*番号はよくお確かめのうえ、お掛けください

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
 ●本カタログに記載されている内容は、改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。  
 ●本製品の輸出(非居住者への業務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合は、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。  
 ●記載内容に関しては一部現段階での検討事項を含むため、変更になる場合がございます



クラウドサービス・アウトソーシングサービス

# NEC東京第三データセンター



# 高度化するICT環境を支え続ける ハイレベルなファシリティと運用サービス



## 安心・安全を徹底して追求

BC/DR\* ニーズの高まりとともに、信頼できるICTシステムの稼働環境を求めて、外部データセンターへの移行が進んでいます。NEC東京第三データセンターは、セキュアで安定した稼働環境だけでなく、都心からのアクセス性や、高性能サーバを高集積で搭載できるラック環境を実現したハイレベルなデータセンターです。

\*BC/DR: Business Continuity (ビジネス継続性) / Disaster Recovery (災害復旧)

### 安心の立地とファシリティ

#### 利便性と安全性を兼ね備えた立地

- 交通: 東京駅から約45分
- 津波: 海岸から20km以上
- 地震: 活断層から10km以上  
東京都地震危険度1(最も危険度が低い地域)
- 地盤: 非常に固い  
(N値\*1 60以上)
- 液状化: ハザードマップ対象外

\*1: N値とは、標準貫入試験(JIS A 1219)によって求められる地盤の強度等を表す数値。50以上は極めて固いとされる。



#### 強固な基礎構造と先進の免震システム

- 長周期地震動の影響が少ない低層建築
- 強固な地盤への直接基礎
- 複数の免震デバイスを組み合わせた免震設計
- 地震PML\*2 1%未満を達成

\*2: 地震PML(Probable Maximum Loss): 予想最大損失率。地震により発生する建物被害の補修費が、再調達費に対して何%に相当するかを表す指標。一般的に数値が小さいほど、建物の堅牢性が高い事を表す。



### BC/DRを実現する高効率で安全な設備・性能

#### 高性能機器を高密度でラック搭載可能

- 床荷重: 2,000kg/m<sup>2</sup>
- 供給電力: 定格9kVA以上/ラック
- 高密度対応: 高効率冷却システム

#### 稼働継続のための設備と体制

- JDCC\*4 ティア4相当\*5
- 非常用発電機(無給油連続72時間運転、冗長化)
- 超高感度煙検知器、窒素ガス消火設備
- フリークーリング等

\*4: Japan Data Center Council(特定非営利活動法人日本データセンター協会)  
\*5: JDCCが制定した、日本国内のデータセンターに求められる信頼性を実現するためのファシリティ内容を定めた基準で、ティア4は最上レベル。(UPS、空調設備はN+1構成)



フリークーリング

#### ハイレベルな環境性能

- 太陽光発電、LED照明、雨水利用等の省エネ設備
- CASBEE\*3 Sランクを取得

\*3: CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency): 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 (BEC) が制定した、建築環境総合性能評価システム。5段階評価で、Sランクは最上位ランク。

### 万全のセキュリティ

#### 不正な物理アクセスを許さない設備・運用

- 有人警備と機械警備の組み合わせ
- 金属探知機による持込・持出品検査
- 7段階のセキュリティ・ゾーン規制
- アンチパスマック・共連れ防止
- 証拠の保管と管理
- FISC\*6 基準に準拠

\*6: 公益財団法人 金融情報システムセンター (FISC: The Center for Financial Industry Information Systems)「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」の設備基準に準拠。



フラッパーゲート

監視カメラ

サークルゲート

ICカード

生体認証

## 高品質な運用サービス

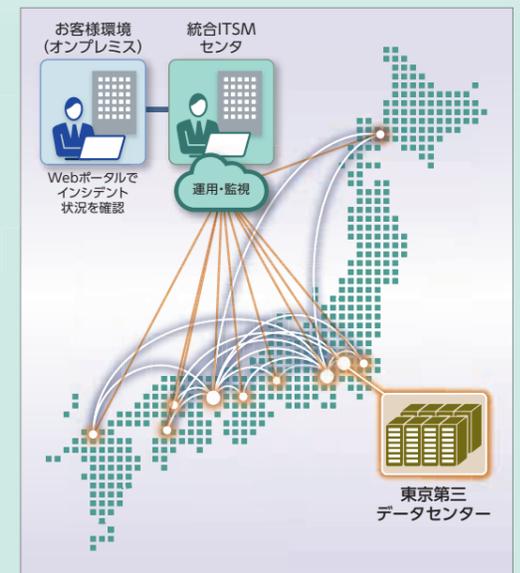
ICT環境は、クラウド基盤やハウジングの利用、自社運用システムとクラウドとの連携など、ハイブリッドな活用シーンが増えています。さらに、遠隔地バックアップやマルチロケーションでの稼働など、システム運用はますます多様化する傾向にあります。NECのデータセンターサービスでは、お客様の变化する多様なICT環境を一元管理し、システムのライフサイクルやお客様のニーズに合わせた最適な運用を継続的にお届けすることができます。

### 全国を一元管理する統合監視・運用サービス

#### ITIL®\*7をベースに構築された「統合ITサービスマネジメントセンタ」

- NECのコアデータセンター等を一元的に監視・運用
- 高い専門性を持った運用要員による統合的な運用
- データセンターに依存しない均質で高品質な監視・運用
- バックアップセンターにより運用サービスの継続性を確保
- Webポータルで、インシデント状況の確認が可能

\*7: Information Technology Infrastructure Libraryの略で、ITサービスマネジメントのベストプラクティスをまとめた公開されたフレームワーク。



### 多彩な連携を可能にするデータセンター間ネットワーク

#### 柔軟性の高いネットワークサービス

- 遠隔地バックアップ、マルチサイトシステムに対応
- データセンター間はもちろん、お客様センターとの接続も可能
- 目的に応じたアクセス回線、帯域、サービスレベルを選択

### ITシステム運用の最適化

#### 豊富な実績を誇る運用設計のフレームワーク

- システム設計時に高度な運用設計を実施し、システム稼働後は継続的な運用改善を実現
- 運用を標準化、体系化、可視化することで、安定した運用品質を実現し、監査にも対応

#### 運用設計フレームワーク

- 30年以上、約6,000社の運用経験で培った高度な運用ノウハウを結集しています。
- その運用ノウハウを標準化・体系化し、運用設計・構築・受入の「フレームワーク」と標準ドキュメントの「テンプレート化」を実現しています。
- 基幹システムの運用に多数の適用実績があり、高評価をいただいています。

#### 運用業務設計ドキュメント体系

- 設計実務に適用できる詳細な標準ドキュメントです。
- 個別の要件に合わせたカスタマイズが容易です。
- 分析、設計、適用、評価、改善サイクルに対応します。

